

**エントリー学校名：**  
 茨城県筑西市立村田小学校

**活動名：**  
 新型コロナと学校運営 (12 文字以内)  
 ～コロナ禍における校内研修の推進～ (16 文字以内)

**解決すべき課題：**

- ・学校長の学校経営方針を核とした、業務改善と修得主義の実現への取組
- ・スクールコンプライアンスの意識の高揚
- ・新型コロナ感染拡大防止を配慮した教育活動の取組

**目標・方針：**

(1) 働き方改革を念頭に置いて、スクラップアンドビルドを進めることによる学校業務改善

- ・時間対効果について全職員への意識調査により劣後順位の明確化
- ・修得主義の実現に向けた校内研修プログラム

(2) コンプライアンス違反を想定した上でのリスクマネジメント

- ・最悪を想定した対応の仕方の準備
- ・過去の事例に学ぶボトムアップ型コンプライアンス研修

(3) 新型コロナ感染拡大防止対策を取り入れた教育活動の実践

- ・飛沫拡散防止シールドの設置、教職員による給食の配食、マスク・手洗い・消毒の徹底

**活動内容：**

① 学校臨時休業時における、全職員を対象にした時間対効果と劣後順位の調査

- ・マトリクス表にまとめることにより、時間をかけても効果が期待できるもの(優先順位)と、時間をかけずに簡略化していくもの(劣後順位)等を明確にした(資料1)
- ・修得主義の実現に向け、算数の授業での適用練習 10 分間の確保と習熟度別学習(6年)の実施

② コンプライアンスミニ研修の実施

- ・職員会議や職員集会での事例研修及びボトムアップ研修(資料2)
- ・当事者意識を高めるためのセルフチェックと服務規律の徹底に向けた小グループでの話し合い(資料3)

③ 新型コロナ感染拡大防止対策

- ・飛沫拡散防止シールドの作成と、各学級への設置(資料4)(授業、給食配食時、2者面談)
- ・給食の配膳は教職員の配食によるレストラン形式を導入し、前向き給食の実施(資料5)
- ・養護教諭作成の絵本「新型コロナウィルスのおはなし」による感染予防意識の高揚(資料6)と中学生作成のうがい、手洗い、マスク着用励行ポスターの設置(資料7)

**活動の成果：**

① 時間対効果と劣後順位の調査により、やらなくても良いもの、簡略化していくものが明確になり、業務の改善につながった。(過度の授業準備、前例踏襲の学校行事、通知表所見の簡略化等)

② 10 分間の適用練習の導入と習熟度別少人数指導学習により、つまずきのある児童への個別指導に当た

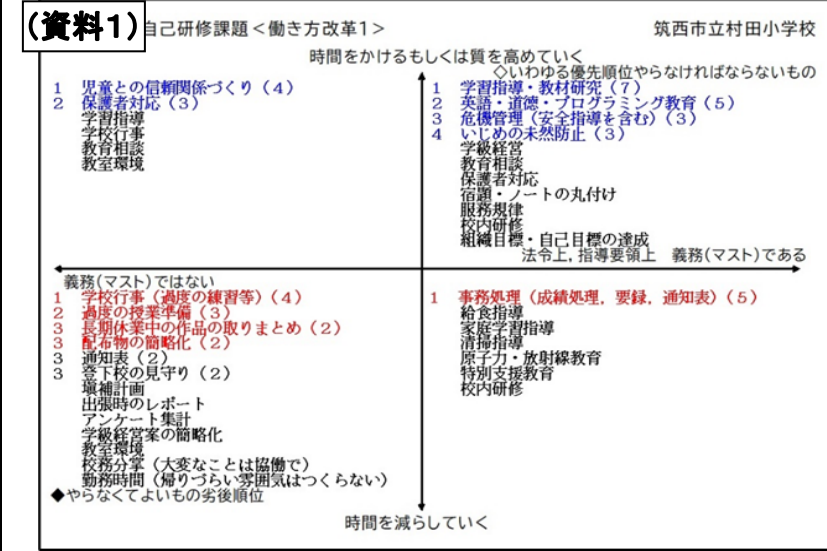
ることができ、基礎学力の定着と修得につながってきている。

③ 「あってはならないものはあってはならない」「この職場から絶対に不祥事を出さない」を教職員が常に意識し、お互いに注意し合う雰囲気が出てきており、服務規律の徹底につながっている。

④ 新型コロナにかからないよう、3密を防ぐ、新しい行動様式を実践するなど、教職員及び児童一人一人が新型コロナ対策を意識して行動できるようになってきている。

**アピールポイント(アイデアや工夫)：**

- ・本実践には、どの学校で取り組むことができるヒントがたくさんある。
- ・時間対効果の意識調査により、仕事の優先順位と劣後順位を明確にでき、業務改善につながる。
- ・学校評価によると、業務改善による勤務意欲の向上が見られている。コロナ禍において、対話的で深い学びへの授業改善について工夫しながら取り組んでいきたい。



**コンプライアンス研修** No. 1 5月 26日(月)

**(資料2)** 氏名 解答例

員のための「ヒヤリ・ハット事例集」の「事例2」について答えてください。

登校途中に忘れ物に気付いたA児が自宅に戻った際、同じ通学班のB児も付き添って自宅方面に向かった。A児がどろんどろんと泥を塗ったB児の足跡を踏んだ。A児はB児が泣きだすまで、足跡を踏んで足音を聞かせた。A児はそのことに気付かず自宅に戻り、母親に送られて登校した。B児が登校しないので心配した担任がB児の母親に連絡をすることが出来なかった。見守りボランティアの方が救急車を呼び、保護者にも連絡をし、病院に搬送されたことが分かったのは1時間目の途中だった。

1 この事例の問題点は何か？

・A児忘れ物を家に取りに戻ったこと。普段から、忘れ物に気付いても取りに戻らず学校に着いてから家に連絡するように指導している。

・B児が泣きだして帰ったこと。通学班の他の児童が止めていない。A児もB児が付いてきていることに気付いていない。

・B児が登校していないにもかかわらず、学校職員が探しに行っていない。地域からの情報や見守りボランティアの方からの情報を収集していない。

2 今後どのように対応したらよいだろうか？

・日頃から、登校時には忘れ物があっても戻らないように指導しておくことが大切である。

・班長、副班長が必ず班のメンバーの人数や行動等に責任をもつよう指導する。

・登校するはずの児童が登校していない場合、必ず朝のうちに管理職に連絡し、次の対応を取るようにする。

